



2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月10日

上場会社名 メディアファイブ株式会社

上場取引所 福

コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 河野 活

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	718	3.5	4	△77.3	5	△57.3	43	550.9
2018年5月期第2四半期	694	5.6	18	415.4	12	222.8	6	—

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 3百万円 (△70.3%) 2018年5月期第2四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	50.45	48.51
2018年5月期第2四半期	7.81	7.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第2四半期	648	450	69.4	521.50
2018年5月期	610	435	71.3	504.05

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 450百万円 2018年5月期 435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,480	4.4	15	77.0	10	△83.6	5	△87.9	5.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期2Q	949,600 株	2018年5月期	909,600 株
② 期末自己株式数	2019年5月期2Q	46,000 株	2018年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期2Q	870,594 株	2018年5月期2Q	863,600 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付書類】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績は底堅さを維持し、雇用情勢の改善や設備投資の増加により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の保護主義的な通商政策や、その他海外政治情勢による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界では、IT関連投資は引き続き拡大傾向にあり、企業においては、容易に人材が採用出来なくなっていることによる人手不足感が広がっております。

このような環境の中、当社グループでは、中期経営計画で掲げておりますとおり、人材確保・育成のための先行投資としてITエンジニア育成研修を拡大し、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるソリューション事業B to Bソリューショングループ及びソリューション事業運用・サポートグループは、ITエンジニアの確保が難しい状況の中、育成したITエンジニアの就業先の確保や、新規取引先及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、内装工事等の案件を安定的に受注しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高718,560千円（前年同四半期は694,141千円）、売上総利益263,893千円（同265,066千円）、営業利益4,269千円（同18,835千円）、経常利益5,420千円（同12,707千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益43,924千円（同6,748千円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において保有する投資有価証券の売却により、投資有価証券売却益58,906千円を特別利益として計上しております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループは、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、技術に見合った契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は470,494千円（前年同四半期は445,351千円）、セグメント利益は110,645千円（同88,886千円）となりました。

②ソリューション事業運用・サポートグループ

ソリューション事業運用・サポートグループは、東京地区を中心に、大規模な基幹システムの運用・サポート業務に従事しており、高スキルを背景とした高収益性グループの特色を出し、政策的に営業活動を行っております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は127,747千円（同141,532千円）、セグメント利益は25,614千円（同31,211千円）となりました。

③ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的に中規模・小規模のシステム開発案件を受注しております。また、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスは、取引社数・取引金額ともに増加しております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は47,750千円（同52,461千円）、セグメント利益は8,973千円（同11,667千円）となりました。

④工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。当第2四半期連結累計期間は、既存先への提案型営業を強化し、新規案件獲得の動きに注力いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は67,833千円（前年同四半期は48,500千円）、セグメント利益は5,237千円（同5,304千円）となりました。

⑤飲食事業

飲食事業は、スイス料理ハウゼの店舗運営に関する事業であります。当第2四半期連結累計期間における売上高は6,094千円(同7,429千円)、セグメント損失は3,291千円(同4,381千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は648,808千円(前連結会計年度末は610,428千円)、うち流動資産524,428千円(同442,692千円)、固定資産124,380千円(同167,735千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金360,628千円(同273,049千円)、売掛金137,794千円(同145,711千円)等であります。固定資産については、有形固定資産22,709千円(同21,828千円)、無形固定資産3,665千円(同3,943千円)、敷金及び保証金37,201千円(同36,225千円)等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は198,444千円(同175,129千円)、その全額が流動負債であります。

その主な内訳は、未払費用98,672千円(同96,893千円)、未払消費税等14,498千円(同17,662千円)、未払法人税等26,026千円(同14,901千円)等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は450,363千円(同435,299千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,049	360,628
売掛金	145,711	137,794
仕掛品	4,487	4,057
原材料及び貯蔵品	1,190	1,241
未収入金	8,648	10,452
その他	12,274	12,685
貸倒引当金	△2,668	△2,432
流動資産合計	442,692	524,428
固定資産		
有形固定資産	21,828	22,709
無形固定資産	3,943	3,665
投資その他の資産		
敷金及び保証金	36,225	37,201
投資有価証券	60,060	—
従業員に対する長期貸付金	15,420	14,354
繰延税金資産	12,980	29,505
その他	17,277	16,944
投資その他の資産合計	141,964	98,005
固定資産合計	167,735	124,380
資産合計	610,428	648,808
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,238	6,817
未払費用	96,893	98,672
未払法人税等	14,901	26,026
未払消費税等	17,662	14,498
その他	34,433	52,429
流動負債合計	175,129	198,444
負債合計	175,129	198,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,825	189,825
資本剰余金	145,525	155,525
利益剰余金	78,548	113,836
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	395,075	450,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,223	—
その他の包括利益累計額合計	40,223	—
純資産合計	435,299	450,363
負債純資産合計	610,428	648,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	694,141	718,560
売上原価	429,075	454,666
売上総利益	265,066	263,893
販売費及び一般管理費	246,230	259,624
営業利益	18,835	4,269
営業外収益		
受取利息	196	212
保育事業収益	15,517	20,466
雑収入	55	106
営業外収益合計	15,769	20,785
営業外費用		
支払利息	81	—
保育事業費用	21,806	19,635
雑損失	9	—
営業外費用合計	21,897	19,635
経常利益	12,707	5,420
特別利益		
助成金収入	17,115	—
投資有価証券売却益	—	58,906
特別利益合計	17,115	58,906
特別損失		
固定資産除却損	444	8
固定資産圧縮損	16,732	—
特別損失合計	17,176	8
税金等調整前四半期純利益	12,645	64,318
法人税、住民税及び事業税	2,798	21,683
法人税等調整額	3,098	△1,289
法人税等合計	5,897	20,393
四半期純利益	6,748	43,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,748	43,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	6,748	43,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,716	△40,223
その他の包括利益合計	5,716	△40,223
四半期包括利益	12,464	3,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,464	3,700
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。